

MOTORSPORT NEWS

MOTUL

fluid force

Motul News No.4-18

◎ WRC第8戦 ラリー・アルゼンチン SUBARUのミッコ・ヒルボネン 自己ベストの4位入賞飾る。 ペター・ソルベルグはリタイア (7/16-18)

7月16-18日、世界ラリー選手権第8戦、ラリー・アルゼンチンが行われた。

今シーズン2回目のアメリカ大陸イベントは全16戦の折り返し地点にあたる。

パンパスやコルドバ市街地に程近い丘を駆け抜けるコースは「1年で最も美しいラリー」に選ばれることも多い。また最も高地で開催されるラリーのひとつで、多くのステージが標高1000メートル以上。また南半球の冬にあたるこの時期、気温は20度から凍るような寒さと幅ひろく、状況の予測がつきにくくなっている。

ラリーは最初からSUBARU(MOTUL)のペター・ソルベルグが木曜日夜のスーパーSSから総合トップに立ち、金曜日にもベストタイムを出す。ウオーターズプラッシュへの侵入スピードが高すぎてフロントにダメージを追い4番手に後退。その後も不運に見舞われ、エンジンストップでリタイアとなった。

一方ミッコ・ヒルボネンは多少トラブルに見舞われながらも第1レグを6位で終えると、第2レグ終了時は4位にポジションアップ、第3レグは、グラベルでは自己初のステージベストを叩き出すなど、活躍を見せ、WRC自己最高位の4位でフィニッシュ。今後の活躍に期待がかかる。

次戦は8月6-8日ラリー・フィンランド。



Copyright © STI



Copyright © STI



Copyright © STI

